



# 森ボラ 通信

第99号 2010年8月20日発行  
NPO法人北海道森林ボランティア協会

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

札幌市豊平区平岸1条1丁目9-6 ラルズビル3F

Tel (fax.): (011)816 - 7010

E-mail: [hshinrinv2002@nifty.com](mailto:hshinrinv2002@nifty.com)

## ■ 現場より

### ◆ 受光間伐 澄川環境林の活動8年

会の発足は2002年の6月で当初は有明環境林中心に活動していたが澄川のほうが人気が高く次第に澄川環境林に活動の主力が移り今や会のフランチイズ的な活動地となっている。有明は40年を超えるトドマツカラマツの放置人工林と濃いササの無立木地が多くいかにも日本・北海道の森林荒廃の代表のようなものであり、2004年の台風は更にその荒廃を深め森林ボランティア格好の活動地である。一方澄川は同じ札幌市の環境林でも、まさに環境省生物多様性センターの調査結果の通りシラカンバ優勢の広葉樹二次林である。

### 目指すは巨木の森

澄川が人気の高い理由は木が細く活動しやすいためであったが、活動を進めるにつれて徐々に問題も明らかになってきた。森が貧相である、倒木が多い、山菜がない、車道から遠いところまで不法投棄のゴミだらけ、蚊や蜂が多い。

当時の湊代表幹事が、この森の最大の問題は入植者による薪炭用材伐採後に放置された二次林が過当競争しており、他の木より高く伸びると、根が大きく張っていないので風ですぐ倒れるのもっと光を多く受けるように受光伐を行う必要があると提唱された。この考えから薪炭・ホダ木に伐採されたあと萌芽した株立ちを2本残して伐る間伐を行っている。活動地は4から6.9ヘクタールに拡張され昨年さらに広がり活動は延々と続いている。株の切り口からの腐食などの入の問題も見られないが元に戻って「一本仕立て間伐」に入るにはさらに数年かかりそうである。



過密な二次林

環境保全のための広葉樹管理の指針書や実例が少なく、施行方法は福島県林業研究センターの「水土保全機能向上を目的とした広葉樹施行基準」を参考としている。

### 間伐材の利用

札幌市の環境林のために学校利用など特例以外の持ち出しは出来ないが林内で最大限の利用をしている。切捨て間伐はもったいないので利用にあわせた量となり冬季のみの間伐で進行が遅いことも確かである。



薪炭に



木工に



ホダ木に

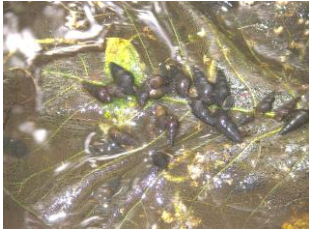


木道に

## 豊かな森でした

間伐をすすめて、遊歩道を整備し、ゴミ拾いをし、台地のサクラ植栽を進めるうちに貧相な森と思われていたこの森は豊かな森であることが分ってきた。写真をご覧ください。

一番大きな反省点は、虫が多いと思っていたのがホタルの生息地であることが分ってきたのです。去年はヤマシャクヤクも発見されシンボルフラワーになりそうである。（記 酒井）



ホタル保護とカワニナ



カブト虫ビオトープ



ネズミの巣か？



ジムグリ蛇



ヤマシャクヤク



キノコの山



中学生とコクワ



ミズバショウ

## トピックス

### ◆ オイスカ海外派遣学生の澄川研修

8月20日(金)澄川活動日。参加9名。10時よりオイスカ北海道の青年海外派遣隊員の学生9名(欠席1名)に対する森林学習を支援しました。参加者は男子4名、女子5名で、在籍大学は札幌大学、札幌学院大学、北海学園大学、北海道教育大学、藤女子大学、北星学園大学、八紘学園とばらばらです。9月27日出発予定で、フィリピンのネグロス島の熱帯林で森林体験が計画されているとのことです。事前研修として北海道の森林を体験することを目的として澄川都市環境林で実施されました。スポンサーのシージーシ北海道虎谷専務の挨拶のあと、高野が森林内を案内・説明しました。澄川の自然、とりわけタヌキの「溜め糞」が道々3ヶ所もあり、キツネの巣穴など、その豊かさに驚いてくれました。濃い緑の中を歩いて「癒される」とのつぶやきも聞こえました。

昼食後は酒井が初歩的な林業技術を指導しました。薪割機の体験、測樹指導、熱帯林や樹種に関する蒞蓄等が参考になったと思われます。殆が森林体験未経験のように感じましたので、事前研修は必要かつ有意義だったと思いました。（記 高野）





## ◆ 中間理事会開催

8月9日(月)13時より、横山理事長出席のもと、2010年中間理事会を開催しました。議題は下記の通りです。

- 1 2010年度活動前期中間報告
- 2 後期活動計画
- 3 組織運営の件
- 4 その他

毎月の「森ボラ通信」で報告のように、計画に沿って順調にスケジュールを消化し、内容も充実してきていることを確認していただきました。



## ■ 今月の幹事会

出席者：市山、荻田、酒井、佐野、杉本、高野、津金、釣井、矢澤、山中、和田

審議および決議事項

- 1 9月スケジュール 微調整 支笏湖 CGC 作業計画確認
- 2 コンサ植樹祭(10/10)対応確認⇒林さんに確認、事前打合せをする。
- 3 リンゴ園進捗状況確認⇒8月20日に確認する。
- 4 有明笹刈対応確認⇒まず澄川の諸々の企画の目途をつけることが先決。
- 5 道主催行事対応確認⇒例年どおりポスターセッションに参加する。
- 6 当別植樹方針確認⇒有明、野幌、支笏湖の結果を反映させる。車両手当てを考慮。
- 7 リュバン提案地選定⇒支笏湖候補地他、有明笹地も検討対象とする。

## ■ お知らせ

### ◆ 支笏湖草刈り追加作業

支笏湖 CGC の森の人力地拵え部の雑草繁茂がひどいので、9月3日(金)に作業日を追加設定しました。日帰りですが、多くの参加をお願いします。

### ◆ 支笏湖植樹祭の予定

支笏湖国有林での関係森林における今後の行事は以下のように計画されています。10月初旬に集中します。当日支援の他に苗木の手当て、植栽事前準備作業を伴います。事前準備を含め、参加をお願いします。

|          |           |
|----------|-----------|
| 道新ぶんぶんの森 | 10月2日(土)  |
| オイスカ当別   | 10月3日(日)  |
| コンサ百年の森  | 10月10日(日) |

### ◆ 道民森づくりネットワークの集い2010

例年のように赤レンガ道庁前広場で開催されます。9月幹事会でプロジェクトチームを編成し、対応することになります。

## ■ 活動履歴

| 活動日      | 行 事  | 参加人数 | 活動内容         |
|----------|------|------|--------------|
| 8月20日(金) | 澄川   | 9名   | オイスカ学生、物置拡張他 |
| 8月19日(木) | 支笏湖  | 14名  | 草刈り          |
| 8月18日(水) | 支笏湖  | 14名  | 草刈り          |
| 8月17日(火) | 澄川   | 11名  | 炭窯開き、物置拡張他   |
| 8月5日(木)  | 有明第二 | 5名   | 笹刈           |
| 8月3日(火)  | 澄川   | 11名  | 物置拡張         |
| 8月2日(月)  | 澄川   | 10名  | 炭焼き、ホタル観賞    |
| 7月30日(金) | 澄川   | 10名  | 物置拡張他        |
| 7月26日(月) | 支笏湖  | 10名  | 草刈り          |
| 7月23日(金) | 澄川   | 12名  | 物置拡張他        |

リンゴ園：7/21⑤、22⑤

## ■ ひとこま

### ◆ 初めて納涼会に参加しました

8月9日(月)大通6丁目(アサヒビール)で実施されました。17時からとのことでしたが、私が到着した時間(16時50分)には、すでに10名の方がおり、10樽が底をついていました。少し蒸し暑い日で、ビールには最適でした。久しぶりの生で、大変おいしく頂きました。参加者は12名と少なかったのですが、10樽3樽を空けてしまいました。平均年齢70歳クラスが、よく食べ、よくしゃべり、よく飲む、元気な集団で十分に鋭気を養いました。(記 田村)

### ◆ コミスジとクズ

澄川でコミスジが手袋にしみ込んだ汗を吸いにきました。コミスジの分布はほぼ全国ですが、北海道での密度は薄いと感じます。この蝶の幼虫はわれわれが目印にしているクズを食べて育つのです。森の手入れをする目的のひとつが生物多様性の維持なので、コミスジを絶滅させるわけにもいかないのは当然のことです。クズ退治もそこそこにして下さいと訴えられた心境でした。蝶トランプでは♥5に位置しています。(記 高野)



### ◆ 炭焼きの成果

今年の炭焼きは天候不順で、2日後にスライドさせて8月2日～3日に行いました。原木が湿気を含んでいたこともあって、2日8時に点火しましたが、火の回りが遅く、煙突から正常に白い煙が吐き出されるまで人力送風(団扇で煽ぐ)を余儀なくされました。その後は1時間置きにエントツのローテーションを行い、煙の色の観察で空気遮断を行うわけですが、夜の暗い照明での観察ですから観察力に個人差もありタイミングが難しいのです。3日の時点で窯がまだ温かったので、窯開きは17日まで延期しました。結果はこれまでの最高の炭が収穫できました。最下段の周辺部が一部焼け残りましたが、回を重ねて技術力がついてきたようです。炭を欲しい方は事務局に申し出てください。希望価格(無料もあり)でお分けいたします。

なお、2日の夜のホタル観察の結果は乱舞とは行きませんで、数匹の灯りの点滅を確認するに止まりました。熱暑が続き、ホタルの出現が早まった可能性があるものと思われます。(記 高野)